

第37回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和2年10月12日（月） 13:00～14:45

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、遠藤委員、折木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、中須賀委員、名和委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、岡村審議官、藤重参事官、吉田参事官、

(3) 関係省庁

内閣官房 国家安全保障局 近藤企画官

外務省 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 倭島室長

文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 藤吉課長

経済産業省 製造産業局 宇宙産業室 是永室長

防衛省 防衛政策局 戦略企画課 松本課長

4. 議事要旨

(1) 令和3年度宇宙関係予算の概算要求の状況について

事務局より資料1に基づき説明が行われた。

(2) 宇宙基本計画工程表改訂に向けた主要論点について

事務局より資料2に基づき説明を行った。委員からは以下のような意見があった。

○中長期的視点、また、同盟国との関係から、どの分野に資源を集中させるかを明確にしていく必要がある。

○それぞれの年までに何をすべきかを具体的に明示できるように、今後、工程表の改訂作業を進めていく必要がある。

○宇宙状況把握（SSA）に関しては、グローバルコモنزの提供という観点もあり、すべての国が協力しなければ、宇宙空間の安全な利用は成し得ない。米国の同盟国として我が国が何を補完できるか考えていく必要がある。

○今回、宇宙システム全体の機能保証として、サイバーセキュリティ対策を一層強化する必要がある旨明記されたことは大変意義のあることである。今後、省庁等を横断した施策とし、関係省庁間で相互に連携する観点も含め、積極的に進めていく必要がある。

○衛星コンステレーションの活用に関し、ユーザーのニーズ、また、ベンチャーを含め

た民間企業の技術動向などをよく把握しつつ、日本全体として総合的な基盤の強化を図ることが重要である。

以上